

つながり

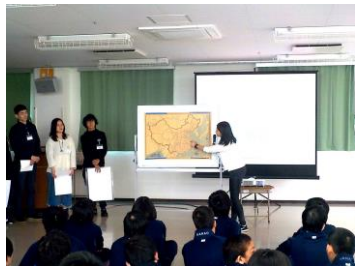
2020年東京オリンピック・パラリンピックの成功を目指して！！

東京都立七生特別支援学校
校長 大和田 邦彦
担当者 福永 顕
平成31年3月15日
第3号（通算3号）

国際交流について♪（ARC東京日本語学校との交流）

★【高等部の取組】＊ARC 東京日本語学校との交流

2月21日（木）に、中国、ベトナムから10名の留学生に来ていただき、交流を行いました。今回は、自国の観光地や文化、漫画やアニメなど、同じテーマで互いに発表しました。交流に当たっては、事前に、インターネット検索等を通して調べ学習を行いました。当日は、模造紙を使ったり、



道具を使ったりして、魅力ある発表を行うことができました。留学生からは、中国のアニメやベトナムの旧正月（テト）についての発表がありました。それぞれの国特有の文化やしきたりについて楽しく学ぶことができました。後半は、運動会で踊った「ソーラン節」や、移動教室で学んだ草津温泉「湯もみダンス」を披露し、一緒に踊って楽しい時間を過ごしました。交流を通して、日頃の学びを深めることができました。



道具を使ったりして、魅力ある発表を行うことができました。留学生からは、中国のアニメやベトナムの旧正月（テト）についての発表がありました。それぞれの国特有の文化やしきたりについて楽しく学ぶことができました。後半は、運動会で踊った「ソーラン節」や、移動教室で学んだ草津温泉「湯もみダンス」を披露し、一緒に踊って楽しい時間を過ごしました。交流を通して、日頃の学びを深めることができました。

日本の伝統文化に関する教育の取組について♪

★【小学部の取組】＊和太鼓鑑賞会

2月22日（金）に、調布狛江合唱団郷土部跳鼓舞さんに来校いただき、和太鼓鑑賞を行いました。低学年と高学年にわかれて聴けるよう、午前中に2公演していただきました。迫力のある和太鼓演奏を鑑賞するだけでなく、児童が参加する「みんなでたたこう」のコーナーも設けました。低学年は「村まつり」を、高学年は「かがやけばやし」を跳鼓舞さんと演奏しました。音楽の授業で扱ってきた曲ですし、演奏活動を行っている方たちとの共演ということで、みんなとてもはりきって叩いて、一緒になって音楽活動を楽しみました。アンコールは「らん」というエイサーで、パーランクーを貸していただいて鳴らしたり、「シーサーシーサー」のかけ声とともに踊ったりして盛り上がりました。伝統の楽器である和太鼓や笛の音にふれる良い機会となりました。



迫力のある和太鼓演奏を鑑賞するだけでなく、児童が参加する「みんなでたたこう」のコーナーも設けました。低学年は「村まつり」を、高学年は「かがやけばやし」を跳鼓舞さんと演奏しました。音楽の授業で扱ってきた曲ですし、演奏活動を行っている方たちとの共演ということで、みんなとてもはりきって叩いて、一緒になって音楽活動を楽しみました。アンコールは「らん」というエイサーで、パーランクーを貸していただいて鳴らしたり、「シーサーシーサー」のかけ声とともに踊ったりして盛り上がりました。伝統の楽器である和太鼓や笛の音にふれる良い機会となりました。



私とオリンピックの思い出～1972年冬季札幌五輪編～

☆第2号は、中山副校長先生の思い出です！

私自身の最初の記憶に残っているオリンピックは、1972年札幌オリンピックです。冬の大会で、スキージャンプ70m級において、金・銀・銅を日本人選手が独占し、日の丸飛行隊と呼ばれマスコミでも大きく取り上げられたことで有名になった大会です。その当時私は、小学校4年生でした。長野県の田舎でしたので、小学校高学年にはスキーの授業があり、1シーズンに5日間程度、学校の裏山やスキー場に出かけて行ってスキー実習を行っていました。

札幌オリンピックの期間中、学校に数台しかないテレビを用意して、同じ学年のみんなで競技のテレビ中継を見て応援した記憶があります。特別なことでとても楽しかった事を覚えています。また、大会前には家の近くの国道を聖火リレーが通り、近所の高校生のお兄さんが聖火ランナーに選ばれて走る様子を応援に行きました。白バイに先導され、白いスポーツウエアと銀色のトーチが格好良かった事を覚えています。

TOKYO2020大会も、どんな感動があるか、思い出に残る出来事があるか楽しみにしています。

